

**【東京都】**  
校務 DX 計画

1 都におけるこれまでの取組

(1) 統合型校務支援システム

成績や出欠、保健情報等の校務系データを一元管理・蓄積する統合型校務支援システムを令和4年度から5年度にかけて全都立学校に導入

(2) 統合型学習支援サービス

児童・生徒と教員間での課題の配信・提出や、双方向学習が可能となるクラウドベースの統合型学習支援サービス(Microsoft Office 365)を令和3年度に全都立学校に導入

(3) 庶務事務システム

教員の休暇申請、出退勤の打刻などを一元管理する庶務事務システムを令和4年度に全都立学校に導入

(4) 保護者コミュニケーションシステム

児童・生徒の欠席や保護者へのお便り配信等を電子化する保護者コミュニケーションシステムをシステム未導入校に対し、令和5年度から令和7年度にかけて段階的に導入

2 校務 DX 化チェックリストを踏まえた都における課題と今後の取組

(1) クラウド環境を活用した校務 DX の積極的な推進

教員の働き方改革にもつながるよう、クラウド型の保護者コミュニケーションシステムの導入を順次進めているほか、職員会議における資料の共有等に Teams の活用を推進している。今後は、クラウドサービスなどの活用を更に推進し、教員のデジタル活用能力の一層の向上にもつなげていく。

(2) FAX でのやり取り・押印の廃止

都立学校においては全教員にメールアドレスや統合型学習支援サービスのアカウントを配付しており、これまで教育委員会や教職員間の提出書類についての電子化や押印廃止に取り組んでいる。今後は改めて実態把握を行い、電子化や押印廃止に向け、さらに取り組みを進めていく。

(3) 今後の校務支援システムの在り方

現在、都立学校に導入している統合型校務支援システムはオンプレミス型であるが、今後システムをクラウド化するとともに、次期更新にむけては保護者コミュニケーションシステムなどの各種クラウドツールとの連携も視野に検討を進めていく。